

デイサービスひのき

目配り・気配り・心配り ～寄り添えるケア～

デイサービスひのきは平成18年に認知症対応型通所介護としてスタートしました。認知症になると「不安」になり、適切な判断が出来なくなる事もあります。しかし、職員が寄り添い、時間をかけて関係性を作る事で笑顔が戻ります。デイサービスひのきではそんな「寄り添えるケア」を目指します。

すてきポイント①「生きがい・出来ることの喜びを」

今までできていたことが「できなくなった」のではなく、時間がかかるだけです。「自分でできる喜び」は認知症進行の緩和にとっても効果があります。

またデイサービスひのきでは、ご利用者に活気のある生活を行っていただくために「外出行事」積極的に実施しています。

(活動例)

家庭菜園(花・野菜栽培)・おかず作り・おやつ作り・映画鑑賞会・手芸・壁画作り・カレンダー作り・各季節のイベントなどを行っています。

活動は利用者様の特性に合わせ自由に選択ができます。

(自立支援の考え方に基づいた関わり)

ご利用の方には、できることはなるべくご自分で行って頂きます。「必要な援助を必要なだけ」行うことで、ご利用者の心身の機能維持を目指します。それこそが「ケア」であると考えています。



デイサービスひのきは、様々な活動を通じて、ご利用者様が在宅生活を継続するうえで必要な「社会性を維持する」ことを目指しています。

(外出行事実績)

季節のお花見、外食、喫茶、スーパーへお買い物など、ご利用者の希望に応じ実施しています。特に外出は利用者様の生きがいの創出につながります。意欲向上に一役買っており、ご利用者の心身の機能維持に抜群の効果があります。



すてきポイント②「送迎の難しい利用者様をサポート」

朝一人で支度ができない方、当日になって「行かない」とおっしゃられる方など、スムーズにお迎えできないケースでもきめ細やかな対応をさせていただきます。必要であれば、一緒に身支度をお手伝いしたり、気分がのらない場合は後ほど再度お迎えに上がるなどしています。これまでも、デイサービスの利用が難しいと感じられた気難しい方、「引きこもり」のある方の継続利用実績があります。朝食が食べれない、食べる時間がないなど、朝食の対応に難儀される家族もいらっしゃいます。その方に合った対応を工夫させていただきます。ぜひご相談ください。

すてきポイント③「ひのきに来ることがリハビリに」

建物は古民家を使用しています。一步室内に足を踏み入れると、そこは昭和ヘタイムスリップしたようです。懐かしさと落ち着いた空間は、ご自宅のようにくつろいでいただけます。住宅ならではの段差をあえて残しました。その中で生活することによって、自宅での日常生活動作の訓練の場となることができます。



すてきポイント④「独居・高齢世帯の方への対応」

(洗濯サービス)

独居、高齢世帯などの理由で、自宅での洗濯が困難な場合はひのきにて洗濯、衣類保管サービスも行っています。ズボンのゴム直し、ぼたんのぼつれ直しも行っています。

(独居の方の生活を支えます)

遠方の家族が安心して頂けるようサポートさせていただきます。ひのきでの様子、些細な変化等家族と連絡を密にします。

「一般の通所介護との違い」

認知症対応通所介護はより認知症介護にふさわしい配慮が施されています。少人数定員（12人）と職員の配置の多さ（3：1）により、きめ細かい対応が可能となっています。

1. 送迎職員を固定しご家族とより深い連携を

送迎時は、ご本人の体調やご自宅での様子を何う貴重な機会です。顔なじみの職員が送迎し、ご家族とより深い連携ができるようにしています。

2. ご本人の自信ややる気を引き出すリハビリを

家庭的な環境を活かして生活リハビリを行っています。例えば、調理、おやつ作り、洗濯物干し、洗濯たたみ、食器洗いなど、現役時代に行っていた家事や作業を中心に提供し、機能回復や、ご本人の自信ややる気を引き出すことに努めています。

3. 一人一人に合わせたレクリエーションを

少人数ゆえに、レクリエーションも一人ひとりに合わせたメニューや進め方が可能です。編み物や、刺繍などご本人の得意なことに取り組んで頂きます。その時々々の状態に合わせて、臨機応変なプログラムと個別対応が可能です。

4. ご本人のペースでお食事を

認知症により食事に時間がかかる、食事に手を付けられないといった状況にも、丁寧に対応いたします。ご本人に合った食事環境を整え、支援を行っています。

「ひのきでの認知症進行予防の取り組み」①

○こんなときどうする？認知症の方への対応の基本

認知症の方への基本的な関わり方は「ほめる・認める」です。笑顔を引き出せる関わりをひのきでは心掛けています。ほめられたり、認められることで認知症の方への笑顔を引き出し症状を軽減させます。

○こんなときどうする？BPSDの対応例

大声を出されたり、徘徊されたりという状態を見て、ひのきでは「なぜこの方はそのように行動するのか？」を考えます。ご本人なりの理由を考えて「介護上の問題点」、「ご本人にとっての問題点」といった課題を抽出してアプローチしていきます。薬だけに頼らず、ひのきの環境、職員の対応の仕方によってBPSD（認知症の周辺症状）の緩和は可能です。

○認知症進行予防の取り組み

ひのきでは、一人ひとりの認知症の症状に合わせたプログラムを用意しています。様々なプログラムで意欲を高め、ひのきのみならず、自宅でも張りのある生活が送れるようにご提案させて頂き、認知症の進行予防に努めています。

目的	個別プログラム	集団プログラム
身体機能	散歩・体操	輪投げ・的当て・散歩・体操・風船パレー
認知機能	塗り絵・学習療法	習字・トランプ・かるた・ちぎり絵
対人交流	RO・いきいきリハビリ	RO・調理・おやつ作り
感情の安定化	バリデーション・入浴・認知刺激療法	音楽療法・外出レク
現実的な刺激	RO・足浴・散歩・認知刺激療法	体操・創作活動・調理
BPSD軽減	バリデーション	

「ひのきでの認知症進行予防の取り組み」②

1.バリデーション療法＝受容と共感的な態度で接する

ひのきではバリデーション療法を積極的に取り入れています。バリデーション療法とは認知症の方の混乱した行動や非現実的な言葉の背後にある意味を認めて受容と共感の対応を示す方法です。受容していることを表現するために、本人の話を傾聴し、相槌を打つ、うなずく、相手の言葉の一部を繰り返したり、タッチングして「あなたのことを理解していますよ」と伝えます。

2.リアリティオリエンテーション(RO法)

「現実を正しく把握してもらう」ための介入方法です。日々の会話の中で「天気」「季節」「行事」など、対象の方の生活背景に合った現実的な会話を取り入れます。認知症の方の現実感覚を取り戻し、見当識障害の改善が期待されます。

○効果測定

ひのきでは利用開始につき、MMSE測定をし、生活機能に関してもアセスメントしています。3カ月ごとに再測定し、生活機能に関しても評価し、点数の維持、機能の維持を目指します。

気になった場合は、是非ご見学・お試し利用を！

※1日500円で体験(食事・入浴付き)

(デイサービスひのき概要)

住所 / 岐阜県大垣市検町706番地
 営業日 / 月曜日～土曜日(12/30～1/3は休業)
 提供時間 / 9:00～16:15(6-7:7-8)
 利用定員 / 12名
 取得加算 / サービス提供体制加算Ⅰ、介護職員処遇改善加算Ⅰ、入浴加算
 実費費用 / 食費550円、おやつ50円、カットもできます

— ◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇

ご利用料金 (7～8) (6～7)

要介護 1 989 875

要介護 2 1097 969

要介護 3 1204 1061

要介護 4 1312 1156

要介護 5 1420 1250

TEL:0584-93-0310 FAX:0584-93-0311

お問い合わせは、担当の染矢まで！